

指標の目標値設定の基本的な考え方

- ・ 施策の目標や進捗状況を数値として明らかにし、市民にわかりやすい計画とするため、成果指標を設定する

(1) 成果指標の考え方

- ・ 原則、客観的なアウトカム指標
- ・ 毎年評価を行うため、年 1 回把握できる数値
- ・ 施策の「取組の方向」を網羅的に測るため、各施策 5 つ以内

(2) 目標値の考え方

目標値の水準は、以下の 3 つが考えられるが、原則**充足値**とする。

期待値	目標年次に理想とする姿を数値化したもの（基本構想で掲げた目指す姿を数値化し、それを達成するための R9 の数値）。理想的な数値である一方、大量の資源量の投入が必要となる可能性がある。
充足値	期待値と推計値の間で妥当と考えられる資源量を投入し、様々な要因を加味した上で、達成可能な範囲で設定する数値。
推計値	過去のトレンドなどから将来予測した数値。実現可能性が高い数値である一方、現在の取組が十分でない場合などに必ずしも適切な水準とならない可能性がある

(3) その他

- ・ 目標設定の前提とする資源投入量は、現状以下
- ・ 当初設定した目標は、原則として修正しない
- ・ 計画期間中に目標を達成した場合には、効率化を図り、投入量を減らす

